

薬物療法が著効した転移乳癌の後ろ向き研究 BSTRO- cureMBC

1. 研究の対象

現在転移乳がんを診断を受けられて、長期間同じ薬剤で治療中もしくは治療後経過観察中で、画像上転移は縮小して明らかな病変を認めない患者さん

2. 研究目的・方法

対象の患者さんのこれまでの治療経過や臨床・病理学的な因子を調査します。対象の患者さんは治癒またはそれに近似した状態を保っている転移乳がんでありその詳細な情報を検討することで、これまでは治癒はないとしていた MBC 治療戦略を大きく変えることができ、将来の医療の進歩に貢献できる可能性があり、新たな治療戦略開発にもつながります。

研究期間：研究機関の長の許可日より 2027 年 3 月 31 日まで

対象期間：研究機関の長の許可日より 2027 年 1 月 31 日まで

当院の症例数：10 例（全体：60 例）

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、診断名、家族歴、既往歴、手術方法、手術日、原発巣および転移巣の病理学的検査結果（組織型, ER, PgR, HER2, Ki67, PDL-1）術後補助療法、局所・遠隔再発日、局所・遠隔再発発見検査、BRCA 変異の有無（および結果）、再発後の治療の詳細（薬物・手術・放射線）、ゲノム検査の有無（および結果）

4. 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。情報提供開始は 2027 年 2 月 1 日を予定しています。情報公開文書によるオプトアウト期間後にデータが確定し利用開始する日時となります。

情報管理の責任を有する者：札幌医科大学附属病院 病院長土橋和文

5. 研究組織

岡山大学	乳腺・内分泌外科	准教授 枝園 忠彦
秋田大学医学部附属病院	乳腺・内分泌外科	講師 寺田 かおり
群馬大学医学部附属病院	乳腺・内分泌外科	診療教授/診療科長 藤井 孝明
札幌医科大学附属病院	乳腺・内分泌外科	講師 九富 五郎
徳島大学病院	食道・乳腺甲状腺外科	助教 井上 寛章
長崎大学病院	乳腺・内分泌外科	助教 久芳 さやか
三重大学医学部附属病院	乳腺センター	准教授 石飛 真人

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2027 年 1 月 31 日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究への利用を拒否する場合の連絡先>

札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科 九富五郎

060-8543 札幌市中央区南 1 条西 16 丁目 291

電話：011-611-2111

(平日：9 時～17 時：札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科教室)

内線：32810

(17 時～翌 9 時、土日祝日：札幌医科大学附属病院 9 階南病棟)

内線：32910